

2020(令和2)年度 第1弾 就活クエスト in OSAKA(おおさか就 Que) 実施報告

事業趣旨:

コロナ禍の影響により、実地を伴うインターンシップ事業が一律中止となったなか、Zoom や Slack といったオンラインツールを活用した新しい形のプログラムを試行する。
オンラインの特性を生かし、在阪企業(団体)の様々な業界で活躍する人々と学生との出会いの場を設け、その業界について学び、また新しいビジネスアイデアを共に考えることを通じて、学生の業界に対する関心や就業意識を高めることを目的とする。

テ ー マ: 飲食業界 特命社長ミッションをクリアせよ !

実施期間: 2020(令和2)年 7月29日(水)~9月9日(水)

※うち1か月間は Slack を用いたグループワークを実施

実施場所: オンライン(Zoom 及び Slack にて)

講 師: (株)かわべフードサービス 人事部 人事課 中井 順子氏、鎌倉 佳子氏

※プログラム実施にあたり、従来のインターンシップ受入先に協力を仰ぎ、講師派遣を依頼。

ファシリテーター: 相愛大学 学生支援センター 竹内 琢哉氏

(大学コンソーシアム大阪 インターンシップ部会 推進委員)

参加学生数: 6大学 12名

(大学別) 大阪学院大学 2名/大阪産業大学 3名/大阪女学院大学 3名/四天王寺大学 1名

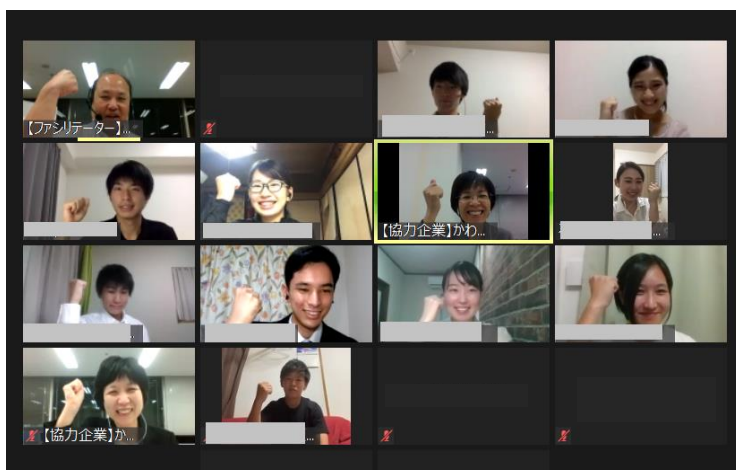
相愛大学 2名/阪南大学 1名

企画・運営: 大学コンソーシアム大阪 インターンシップ部会 推進委員会

プログラム概要:

日程・場所	プログラム	内容
7月29日(水) 18:00~20:00 Zoom にて	オンラインミーティング (キックオフ)	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの趣旨説明 ・ミッション発表 「キミをかわべフードサービス特命社長チームに任命する !!1ヶ月間で新しい飲食業のあり方と働き方を提案せよ!」 ・(株)かわべフードサービスによるミニ講演 ・グループ討議 <li style="padding-left: 20px;">テーマ: 1.講演を聞いてどのような会社だと思ったか? 2.これからの飲食業に求められるものは? 3.飲食業で働く魅力とは? ・発表・講評 ・Slack ワークの説明
8月3日(月)~ 28日(金)	Slack ワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループでミッションに基づき検討、プランに関する PPT 作成 →学生提案について、かわべフードサービスにてプランの採用可否について検討
9月9日(水) 18:00~20:00 Zoom にて	オンラインミーティング (フィードバック会)	<ul style="list-style-type: none"> ・かわべフードサービスによる検討結果のフィードバック ・フィードバックを受けた検討(学生によるグループ討議) ・まとめ

オンラインミーティングの様子：



学生提案(一部抜粋)：

・チーム1 「外食から unbelievable!!～特別な笑顔を届けよう～」

- ・無添加素材など、体に良い食材を使った定食、メニューを届け、顧客の健康意識増進のお手伝いをするサービスを通常のサービスとは別に提供する。
- ・主なターゲット層：中年層(30代から50代)また食生活改善に関心がある層全般
- ・近年の単身世帯増加に伴う孤食問題、健康問題に着目。
- ・飲食業界として、世界の人々の健康を根本的にサポート、医療機関にかかる人の人数を間接的に減らすことで、医療従事者の負担を減らす狙い。
- ・「健康な暮らしは、美味しい外食から」という概念を広めていく。
- ・機械化導入による迅速な対応、健康サポートでお客様に感謝の気持ちを。(=経営理念)

・チーム2「1人でも入りやすい空間×『With コロナ』という状況下でも、安心して食事ができる空間」

- ・1人でも入りやすい店として、匂い消しスプレーの設置、1人用セットメニューの開発、換気扇の数を増やすといった具体案の提示
- ・エリア内で働く全てのアルバイトの3割以上が、社員登用制度を希望する状態を作る
→社員の志望率を上げるための Thank you カードの導入

参加者アンケート：

別紙のとおり

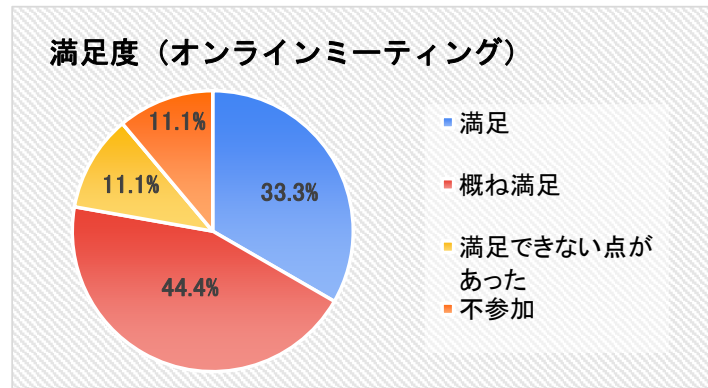
おおさか就活クエスト 第1弾 参加者アンケート

参加者数 6大学12名 (うち 回答者数 9名)

I. オンラインミーティングについて

1.満足度

満足	3
概ね満足	4
満足できない点があった	1
不満	0
不参加	1



2.満足度の理由

「満足」と回答

- ・今まで体験した事が無い事を経験することができ、本当に良かったです。
- ・沢山の発見があり、自分の中で選択肢が増えたことで、とても充実した時間になったからです。
- ・今まで答えのないものに対して自分、またチームで正解を“考える”機会は案外少なかったなので、いい経験になった。

「概ね満足」と回答

- ・対面で話し合いをして、みんなでパワーポイントを作りたかったです。
- ・少人数で発言しやすかったため。
- ・アプリを使ったインターンより、対面式をやりたかったから。
- ・かわべフードサービスの事業内容が詳しく知れて、ざっくばらんに質問が出来たから。

「満足できない点があった」と回答

- ・機能の使い方などの理解に時間がかかった。

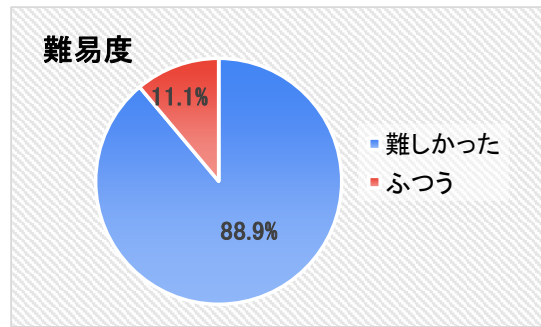
3.オンラインミーティングについての感想、意見など

- ・みんな真面目に話し合いが出来る方、発想豊かな方ばかりでとても良い刺激になりました。
- ・実際に話すより、苦手意識があった。しかし、今回の経験を今後活かしたいと思う。
- ・次回は対面式でやりたいです。

II.Slackワークについて

1.ワークの難易度

難しかった	8
ふつう	1
簡単だった	0



2.難易度の理由

「難しかった」と回答

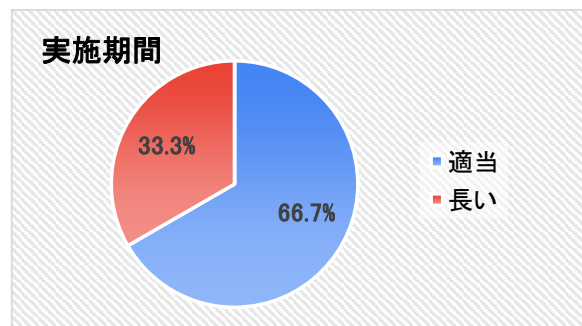
- ・意見について指摘しにくかったです。
- ・使った事が無かったので慣れるまでに時間がかかりました。
- ・通知の設定をしていても、通知が来ないことがあった。
- ・通知、機能、全てにおいて初めてだったので、難しいと感じてしまった。
- ・なかなか返信がなく、話が進みづらかったから。それぞれの都合があると思うので催促もできないので、まとめることが難しかった。
- ・使い方に慣れていないから。
- ・今誰かと何度か意見を交わしたて話を進めたいと思っても、相手が聞いてくれるわけではないので、思うように進まない。
- ・口頭ではないので意見を聞けていない人へのアプローチが難しかった。

「ふつう」と回答

- ・Slackに慣れてない人もいる分、テンポがイマイチに感じたから。

3.Slackワークの実施期間の長さについて

適当	6
長い	3
短い	0



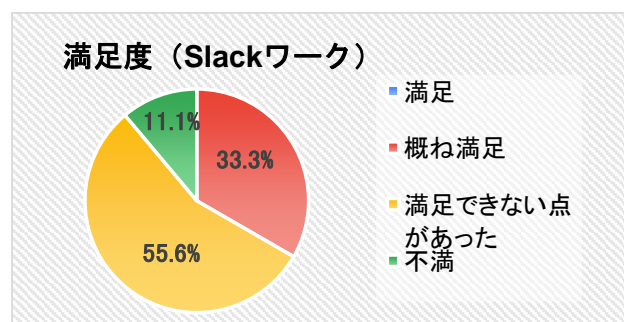
4.上記と回答した理由

「長い」と回答

- ・期限が先なため、このミッションについて考えることが少なくなってしまった。
- ・後一週間あると余裕をもってしまい、盛り上がっていた議論がしぼんでしまった
- ・間延びしてしまい、期間が迫るまで意見が少なかった。

5.ワークの満足度

満足	0
概ね満足	3
満足できない点があった	5
不満	1



6.満足度の理由

「概ね満足」と回答

- ・対面でしてみたかったからです。
- ・対面ではなくチャットでの話し合いだったので、意見を沢山出し合って議論する事ができませんでした。
- ・文字にして相手の意見が残ることで、後で見返して考えることが出来た。

「満足できない点があった」と回答

- ・なかなか、話し合いに参加できなかった。話すタイミングがわからなかった。しかし、意見をまとめて文字で書くので、相手に伝えるので良かった。
- ・チャット形式だとどうしてもタイムラグができてしまい、意見のキャッチボールがしにくかったため。
- ・使いにくく、対面式の方が意味があると思ったから。
- ・Slackに慣れてない人もいる分、テンポがイマイチに感じたから。
- ・積極的に意見が出なかったため十分な議論ができていなかった。

「不満」と回答

- ・既読機能がついているわけでもないのに縛られていない為、悪く言えば逃げようと思えばいつでも逃げる事ができてしまう。

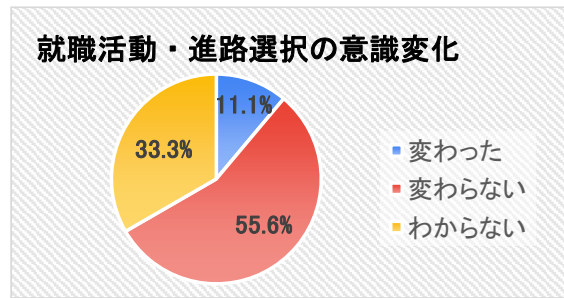
7.Slackワークについての感想、意見など

- ・zoomで各チームだけの話し合いとslackでの話し合いを同時進行でできたならより一層良くなると思いました。
- ・使いにくかった。
- ・みんななかなか返信をしてくれなくてやる気が下がってしまった。どう話しかければ相手が答えてくれるか悩まなければならなかったのが、一回一回の発言の重さを感じてしまった。

Ⅲ. プログラム全体について

1. 今回のプログラムによる就職活動や進路選択の考え方の変化

変わった	1
変わらない	5
わからない	3



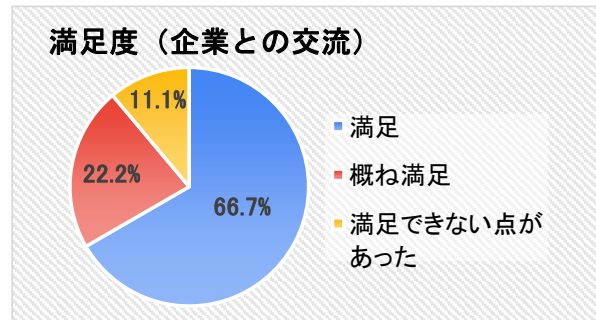
2. 上記と答えた理由(具体的に)

「変わった」と回答

・仕事をする＝常々に走りながら考え続けなければならないということがよくわかった。

3. 企業との交流の満足度

満足	6
概ね満足	2
満足できない点があった	1
不満	0



4. 上記のように答えた理由

「満足」と回答

- ・自分たちの意見を話し合っ、指摘してくれたことがとても良かったです。
- ・1ヶ月もかけて自分達で10年後の飲食業界を考え、企業様からフィードバックを頂くという体験をした事が無かったので、とても良い経験になりました。
- ・企業の方とお話する機会はあまりないため、貴重な時間を過ごせたことがとても嬉しいから。
- ・どんな意見でも丁寧にしっかりと考えて答えてくれたので、満足しました。
- ・たくさん為になるフィードバックをして頂けたからです！
- ・学生の意見に対して真剣に向き合ってくれた。

「概ね満足」と回答

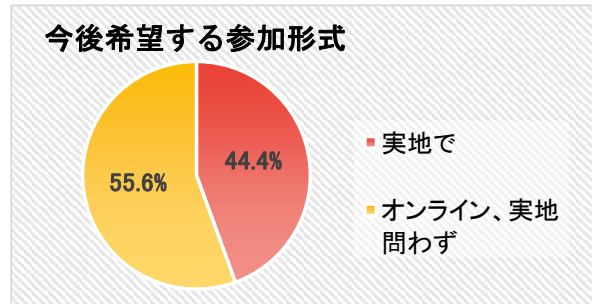
- ・社内でわざわざ検討してくださり、フィードバックを受けることができたため。
- ・今まで見てなかった企業を知れたから。

「満足できない点があった」と回答

- ・直接、お話することができなかったから。

5. 今後希望する参加形式

オンライン	0
実地で	4
オンライン、実地問わず	5



6. 上記と回答した理由

「実地」と回答

- ・対面でインターンをやってみたい。
- ・オンラインでは出来ない事を対面でしたいです。
- ・オンラインのインターンが多すぎるから。
- ・対面の方がワークをしやすいから。

「オンライン、実地問わず」と回答

- ・今回のzoomでの会議だと、実際に会っていないので意見が言いやすいという利点もあり、実地開催の場合も、時間問わず個人的に質問などが出来ると思うから。
- ・2回生のうちにいろんなことを体験したいと思っています。
- ・できれば実地開催が望ましいが、オンラインでも興味のあるイベントにはどんどん参加したいと考えているため。
- ・オンラインだとテンポがイマイチに感じたから。
- ・どちらにも利点があるため。

7. 今後、テーマとして取り上げてほしい業界や職種

- ・街づくり
- ・IT業界
- ・映像・広告業界
- ・国際協力など
- ・コーヒー業界、ワイン業界に興味があるので、もし機会があれば取り上げていただきたいです。

8. その他、プログラム全体についての感想や意見など

- ・大変貴重な経験することができ、今後に生かせる事を学びました。1ヶ月という期間でしたが、ありがとうございました。